

提案を選択した理由

提案1

親子で楽しめる。

実現可能性と、行ってみたいと感じるかどうか…

開放的。

各々、レストランの場所や、眺望が良いと思ったので選びました。

落ち着いて食事が出る所と、子供連れでも気がねのない所の2種類あればなお良いと思います。

今のように図書館の開いている日のみ営業で、食事が出るのが2.5時間のみというのは遠方からのお客様に失礼です。

公園を歩いていたら、中の様子が見えて楽しそうだから。駐車場が美術館の近くであって、子供連れでも便利だと思う。

現在のバス停から美術館までの遠く不便な道のりを改善している所。

高齢の父と車イスで行こうと思える。集落の展示が楽しそう。

池でのコンサートに毎週立ち寄りたいたい感じがあるから。

美術館としての機能だけでなく、あらゆる年代の人々が集える所が良い。

楽しめる。

部門ごとの独立性と、公園との一体的景観のマッチングが素晴らしい。

親子連れが楽しめる美術館。

基本的な要素と未来的要素が平均的に含まれている。

全体が理解しやすいように思う。

神仏展示がある。

キッズルーム、創作室がある(お茶室を残す形になっている)。

キッズルーム等、子供スペースが充実している。

くつろいだり、みんなで物を作ったりできる創作できる広場がちゃんと用意されていて、子供を連れて遊びに来たら楽しいと思う。

今の庭や池が美術館と一体になっていて、散歩に来た時に、広場の様子が見えてよさそう。

全体構造が分かりやすいので、馴染み易そうです。

琵琶湖大橋の様な橋も滋賀県らしい。

多くの人のために美術館を公園として開く。

エントランスがバス停に近くなることで美術館がより身近に感じられる。

駐車場確保。レストラン、カフェが充実。

収蔵がしっかりできそう。庭に頼りすぎでない。

親子でのんびり出来そう。

家族で楽しく芸術にふれる事。

美術館と公園のつながり。

新しい駐車場を含めて、アクセスを考えてる。

楽しそう。

提案2

動線に工夫がなされている。

屋外で自然との一体感、更に図書館とステージも良い。駐車スペース心配だ。

目に障害のある私でも見やすく、少しは概略がわかった。

仏教美術の場も作ってほしい。滋賀には多くの知られていない仏様を守る為にも現在の建物をあまり変えずにしてほしい。

大切にしたい原風景と、屋根の連なりが風のように、全体にまとまりがある。

建物をつなぐ傘に魅力を感じた。ただ、この傘もアーティスティックなものでなければならぬと感じた。

理解出来た。

散策しながらアートとめぐり合う。楽しそうである。

屋根が良い。

それぞれの館を巡り歩けるから。

野外ステージ楽しそう。

全体的な建物の配置が良い。唯展示室1, 2, 3, 4は企画展示室(常設展示室と余り離さないこと)と思うが、一つの建物にすべき。

常設展示室と恒久展示室は仏像、アール・ブリュット用とする。

運動にもなりそう。

茶室があり、散歩の途中での休憩スペースもゆったり取られている。

楽しめそうです。

ロビー空間の屋根の形がおもしろい。

あまり歩かなくて良さそう。

屋根があるから。

棚田のイメージ(お茶室を残す形になっている)。

公園をめぐり歩く所。

公園あり。

暮らしの原風景や散策という点に、スケールの大きい美術館をイメージできたから。

ステージやスペースに分けるといことで、ゲームのような面白さを感じました。

散策がよし。

提案3番

キッズミュージアム。

キレイ。

里山デッキや水辺のデッキ等、緑を感じながらゆったりできるスペースがよい。

里山とアートをつなぐというところ。

自然回遊型がおもしろい。

まとまっている。

回廊型が良い。

キッズミュージアムの充実。

現在美術館と図書館が別だが回廊で続けるのが良い。

自然を残している。

提案を選択した理由

自然との調和と回遊性。

自然重視。

新鮮味がある。

自然との一体感の里山。

大学で美術並びに里山を学んだので、その二つの調和という発想にインパクトを感じたから。

環境に配慮し、高速から建物が見えるのもすばらしい。

滋賀県ならではの環境型が良い。

回遊できるのが楽しい。

自然と調和が取れていると思う。たのしさがある。

今の建物に大きな不満はないが、周囲から孤立したような感じがする。

この案は既存の建物を生かしつつ、この点の解消を目指しているように思う。

なんとなく。

県民ギャラリーを大切にされている。企画展示室を北側に配しアクセスのよい所。でもこれだけではよくわかりません。

夕照庵を大切にされている点。現在の企画展示室が収蔵庫になるのは少しもったいない気がします…

水辺のデッキ。

基本的な要素と未来的要素が平均的に含まれている。

自分の感覚と同じ。

新設部分と既存部分で企画展と常設展を分けてしまうのではなくて、同じ列で見に行きやすいように配置されているところがよいです。

まとまった感が良い。

広がり機能性。

デザインがかっこいい。

キッズミュージアムが素敵。

回遊型が良いと思う。

楽しめそうです。

自然を取り入れ開放的である。

提案4番

池を巡る近代的な建物が立並ぶ風景もよいと思う。

楽しそう。

自然との触れ合い。

ふわりとした屋根の表現に、優れた外観デザインの可能性を感じる。

意外とコンパクトで、動線が短そうなのが好ましい。

最も有機的で、人間らしさを感じた。また丘上の静かな空間であることも、人生を意識させる本提案内容にマッチしていると思う。

デザインがすっきりしている。

とても素敵です。

親水。

ツリーハウスがあるので家族で楽しめそう。

イメージがよし。

のびやか感で良い。近代館と落ちつきが良い。近代感で動的である。

写真があってイメージしやすい。

敷地全体で楽しい空間になっている。

とてもデザインが斬新。金沢の21世紀美術館や軽井沢の傾斜地を利用した美術館を連想させる。

空間的に神秘的なイメージがあるから。

文化ゾーンを生かし環境を感じるみんなの広場になる感じ。

回廊イメージ。

未来都市的でアートな空間。

高さが低く、圧迫感がない。

子供が楽しめること。

来場者と作品が一番の主役であるとするコンセプトが、美術館としてとても魅力的に感じました。

アモルファスというものがよく分かっていませんが、作品が行きたい場所に行けて、来場者も表現衝動をかり立てられるような空間がイメージでき、行ってみたくなりました。

宇宙を思わせるステキな美術館になりそうです。

提案5番

広さ(中の広さ)を感じる。

自然との融合。

ゆったりとした広がりを感じる。

駐車場が近い。急いでいる人は、企画だけ見て帰れる。

車椅子等でも楽に観られるように思う。

楽しめる美術館という発想に魅力を感じる。

丸一日楽しめる美術館というコンセプトが良かったから。

奈良公園周辺をイメージしました。県道から見える企画展示室もアピール出来て、いい考え。

開放的。

収蔵がしっかりできそう。庭に頼りすぎでない。

展示室が(広さは不明だが)まとまっている。レストランの配置がよい。

(収蔵庫も良いと思う。地上施設との関連は不明だが)。

北駐車場からの動線がシンプルでわかりやすい。

美術館の活気が外へ伝わり外部へ開かれたものになっているから。

開放的で広々とした空間。

展示室を上にあげて、ながめがよくなるのは良い。

提案を選択した理由

提案6番

夕照の庭の美しさが生かされていて良い。
分散を少なく。
自由で楽しそうなので。
建物が連なり合って楽しく歩けそうな雰囲気がある。
夕照の庭がよく見れて良いかなと思う。
自然にとけこんでいる。
新生美術館は庭園計画であるとのモットーが良い。
美術館と庭園(池)が一体となった敷地が素晴らしいと思う。
各所をいかすのもいいと思います。
夕照の庭を活かしているの。(ここが好きなお客様が多い！)

提案7番

展示を見るスペースはできるだけ集めてあること。それ以外に景色を楽しめるよう設計されている。
観るのに疲れる広さはちょっと。
現在の設備が最大限活かせるのが魅力的。あまり凝りすぎない方が良くと思う。後々、必ず手がかかると思う。
最も現実的だと思う。自然採光による大空間が良いと思う。
分かりやすいプレゼンテーションの能力も、こういう仕事において大事だと思うので、一目見て分かりやすいパネルの番号を選ばせてもらいました。あとあまり奇抜なデザインやアイデアも、景観や安全性の面からどうかと思うので、安定感のあるデザインが良いと思います。
各々、レストランの場所や、眺望が良いと思ったので選びました。
落ち着いて食事出来る所と、子供連れでも気がねのない所の2種類あればなお良いと思います。
今のように図書館の開いている日のみ営業で、食事出来るのが2.5時間のみというのは遠方からのお客様に失礼です。
分散を少なく。
全体がわかりやすい。
緑がたくさんあって四季を楽しむこともできそうなので。
回遊式で散策場所としてもくつろげる。
回遊式が良いと思う。
優れた外観の既存美術館と連続性のあるデザインでありそうなのが好ましい。
池の汀線に対して窮屈そうな建物配置、大胆に池の中に入り込むみたいなプランであってもいいのでは、と思った。
回遊式庭園。新しい文化もよし。
駐車場からの流れがいい。
ホッと憩いのできる場所。
既存館と新館のバランスが良い。
コンパクトで良さそう。
(お茶室を残す形になっている)
展示室とギャラリーが大体まとまっている。来館者の入場が北側に有るのが良い。企画展示室と常設展示室の大きさは検討の要あり。

提案8番

高齢ですからバリアフリー等がしてあると楽しめると思います。
パーキングから近い。
一番コンパクトに感じた為。
動線がよさそう。
建物が良い感じ。
高さが低く、圧迫感がない。
空間を感じられる。おちつきと機能的。
メンテナンス、コストが配慮されていること。
自然公園との植生を守り、一体化した美術館らしさが出ている。
成熟した緑豊かな公園を最大限活かすところ。
神仏展示がある。
植物と水の自然の大きさ。
安全のアピールあり。
和と洋のハーモニーがいい。
明るくてよし。
のびやか感で良い。近代館と落ちつきが良い。近代感で動的である。
オープンな展示空間が魅力。
芸術をたのしみながら、くつろげるのではないか。
分かりやすいプレゼンテーションの能力も、こういう仕事において大事だと思うので、一目見て分かりやすいパネルの番号を選ばせてもらいました。あとあまり奇抜なデザインやアイデアも、景観や安全性の面からどうかと思うので、安定感のあるデザインが良いと思います。
分散を少なく。
環境県滋賀県のよさをアピールしている。
基本的な要素と未来的要素が平均的に含まれている。
ばらばらでなく、まとまった所で行き来できるから。
最もコンパクトそうな案。無駄に冗長な長い動線は疲れるし、行きたい展示へショートカットして行けそうなプランニングが好ましい。
ただ狭いところに詰め込んだ感があり、豊かな自然を感じれる場所が少なそう。
滋賀里山アートフィールド。楽しめそう。
取蔵がしっかりできそう。庭に頼りすぎでない。

提案を選択した理由

提案9番

自然環境との調和。
形がおもしろい。
デザインと機能が両立している。
広がる美術館。デザインが斬新でフレキシブルな感じがよい。
建物の形が、自然とマッチしている。それでいてより現代的だ。
自然環境とまっちしているところ。新しい感覚。
インパクトがあり高速道路からでも必ず存在に気づくから、話題になりやすい。それでいて中庭からもつながりもきれいだし、わくわくする。
アートな感じがいいです。
自然と建物が一体化していて、ステキです。
美術館のデザインが斬新なのがいい。
ブリュッセルのルネマグリット美術館を想起させ高い天井とゆとりある平面が特徴と言える。
展望を楽しめる。
一体化している。
斬新なデザイン。
全体に広いものに共感します。
道が広がっていくという発想にびっくり。
流線のデザイン。
のびやか感で良い。近代館と落ちつきが良い。近代感で動的である。
奇抜なデザイン。

提案10番

基本的には今ある森、緑を生かしての美術館としてほしい。
景色がいっぱい見れるから。
文化ゾーンの美しい木々を感じられる空間が素敵。
自然を利用して空間を広くとっている。
空をながめる場所があると開放感があって良いと思う。
全体に広いものに共感します。
滋賀の自然と調和してる気がする。自然を尊重し地面の中に埋まっているのが良い。完成したら家族で訪れてみたい。
半地下構造。日本庭園をそのまま活かす。
緑が側にある様な感じがします。
池の前のスペースが良い。
地上も地下もあって良い。
自然環境を最大限に生かした所。
庭園を多くとっている。
展示スペースの拡大・自然にもどる。
自然環境の中に溶け込むところ。
きれい。
庭園を中心とした美術館。
庭園が重視されている。
周りの自然環境と一体となった感がある。
イメージのみ。
庭園との一体感が素晴らしい。
おちついた空間がよい。
自然ととけあっている。

提案11番

シンプルな構成。池の景観を生かしてる。歩きやすそう。
わかりやすい位置関係。おとしよりもやさしいなど。
自然を取り込んだ所。
シンプルで整然とされている。
自然との協調が良い。電気、空調に配慮して人にやさしくもあり径が生きている。すばらしい！
開放的で自然を取り入れている。
自然が多い中で駐車場近い。
自然との調和と回遊性。
自然光の回廊。
まわりととけ込み大勢の人が入り易い。
琵琶湖を望めるところ。
パネルのデザインがホッとするので。
神と仏の展示。(滋賀県は展示が少ない)
神仏展示がある。
比良や琵琶湖への眺望。
子供が楽しそう。
コンパクトにまとまっている。
展望デッキから比良を望む。すばらしい。
美術館としての、気品がある。
分かりやすいプレゼンテーションの能力も、こういう仕事において大事だと思うので、一目見て分かりやすいパネルの番号を選ばせてもらいました。あとあまり奇抜なデザインやアイデアも、景観や安全性の面からどうかと思うので、安定感のあるデザインが良いと思います。

提案を選択した理由

提案12番

自然を(周囲の)残しながら、むしろ取り込んだ中に落ちついた建築物がうまく溶け込んでいるレストラン、カフェを絶対に作って欲しかった。

今の風景(自然)が殆どそのまま残る。

自然を残した。

今の美術館の雰囲気を見失わずに計画されています！

自然が多い中で駐車場近い。

自然を残し、できるだけこの景観を大切にしているところ。

駐車場から美術館への道にも展示し、道のりを感じさせずに本館にいざなえる。庭と展示館の一体化が感じられる。

図書館へのプロムナードも考えられている。

全体のレイアウトが気に入った。

みんなで遊べる感じ。

子供たちが楽しそう。

コミュニケーションを誘発する企画展示ゾーンで観覧者の交流作りによい。

地球(自然)の大きさ。

周辺の地形とマッチして気軽に足を運べる。

自然との調和と回遊性。

提案13番

各々、レストランの場所や、眺望が良いと思ったので選びました。

落ち着いて食事が出来る所と、子供連れでも気がねのない所の2種類あればなお良いと思います。

今のように図書館の開いている日のみ営業で、食事が出来るのが2.5時間のみというのは遠方からのお客様に失礼です。

公園からのアクセスが良く、全体が散策できるのが良い。

美術館としてだけの機能でなく、散策もできる。

新生美術館に関する意見・感想(自由記述)

無料のイベントをたくさんして、地域、子供～大人まで楽しめるものが良い。

雨の日も楽しみたい。

今夏に行ったスウェーデンのアーキバダグ美術館が、自然の中で本当によい空間があった。

こどものための映画上映があると嬉しい。海外ではあったので、こどもが喜んで美術館に通っていた。

夏休みなどに1日体験とかあると楽しそう。

税金をむだ使せず、どの世代にもやさしい設計がいいと思います。

室内、室外を一体化するよう建物。子供が遊べる美術館。

高齢にも優しい、広すぎず狭すぎない心地よい美術館にしてほしい。

今までよりも多様な企画展をしてほしい。

今ある山の様子や樹木等はなるべくそのままであってほしい。ただ、訪れた人は、たくさん歩くので、歩きやすい道にしてほしい。

障がい者にも高齢者にも歩きやすい歩道して下さい。でこぼこした石畳はいらない。

週末に月に何度も訪れたいと思う様な設計、企画にして下されば市民はとてもうれしいです。(今は年に1度位で閉鎖的な感じがあります。)

◇ 今の駐車場は小さすぎている。規模が倍以上？になるのに、車でアクセスが基本と思われる敷地にしては、駐車場計画の提案がないのは、元々の設計条件に入らなかったためなのか。どの案もほとんど現況の駐車場を踏襲する案になっている。必要となれば美術館本体と同じくらい用地が確保されなければならないことを考えれば、設計条件の中に入れる必要があったのではないかな？

◇ 現在の図書館も美術館も外観的には、高い水準のものが建設されていると思う。そのデザインに馴染ませて、切妻や寄棟の屋根の重なりを連続、というのは、今でもあの広大な緑地にある解法として古びていないと思う。

◇ 地下に収蔵庫という案が多いなー、メカニックと建築技術で地下にそういうものを配置するも十分に可能なだろうが、あまりメカニックに頼らずランニングコストのかからないような「高床式の地上にある収蔵庫」というのもアリなんじゃないかな、と思った。地上の方が気候変動に影響されやすいのだろうか？ 私は、湿気や漏水、そして思わぬ集中豪雨の時の雨水の侵入の危険がありそうで怖い気がするのだが。十分デザイン的に配慮されたような(例えば正倉院のような)地上の収蔵庫 + 既存に上手く繋がれた敷地の起伏に合わせた展示空間、それを繋ぐものは、別に建築的に考えなくても、トラック+適切なプラットホームっていうのもいいんじゃないかと思ってしまう。

◇ 仏様は、お堂の須弥壇の上にお祀りされ、襖絵は書院造の座敷に納まり、掛け軸は床の間に花瓶や生花と一緒に納まり、装身具は誰かが本当に当時の衣装と共にまとい、油絵の肖像画は赤い巨大な壁面に豪華な金縁でランダムに掲げられ、食器類は御膳やテーブルの上に食事が用意されるように配され、ポップアートは渋谷の雑踏のショーウィンドウに飾り、そんな「場の雰囲気」をとともに、一つ一つ作品を見られるような、展示があればいいと思う。

◇ 広い色んな種類の展示空間、ループルの地下増築のような、順路以外にもショートカット出来る動線が確保された動線計画を計画して頂きたい。

建物に関しての方向性は、設計された方の考えはよく理解できたが、来場する方だけでなく、表現者からの目線も重要視しなければならない。つまり、作品や表現があって、そこへ来場されて初めて成り立つものなのだ。近・現代美術、仏教美術、アールブリュッドと美の三本柱となっているが、これはコンセプトであり、限定した空間を作ってしまったのではいずれ美術館としての機能が厳しいものになるだろう。芸術表現は分け隔てて鑑賞するものではなく、鑑賞の壁をつくらず、どの空間も、全てのジャンルのアートが活用できるような空間にしなければならない。建物や環境設計だけでなく、また、今までの概念を切り捨てるのではなく、ホワイトキューブも必要空間であることも認識しつつ、そして、スポットライトや電源、空調など、細かな備品にも気を使っただけで空間を使い表現する者も活用しやすくなるのである。

現段階では、一番重要な、表現者の観点が欠けているように思われる。素晴らしい表現と環境があって、初めて鑑賞者が楽しめ、動員数増加の原点であることを忘れてはならない。

それぞれの計画を拝見させていただいて、そのような思いが更に強まったのである。

大切なのは、中身である。限られた予算の中でいかに大きな展示スペースを得る事ができ、作品の良い展示ができる事が大切(照明、空調等)。

駐車スペースの確保と公園内を電動カートでめぐる事等サービスがあれば良いのでは？

自然環境を最大限生かして欲しい。

パーキングから遠いと雨の日困る。石畳の道はやめて！つまずいて困る！

車椅子が使えない。バリアフリーで歩きやすい道を。坂道は嫌！

今と同様に駐車場が無料で、いつでも気軽に来られる美術館であってほしい。

色々な美術家の作品を展示して欲しい。もちろん著名な美術家の作品も期待しています。

多くの県民が気軽に立寄れる美術館になるとよいなと思います。

外国では平屋の美術館は少ないと思う。2～3階建も考えては？

ざっと見ただけで良さがよくわからないのですが、自然が多くいやされてそれでいて車イス等でも近く便利であってほしいです。

自然の中にある今の美術館好きです。自然多く散策できたりするのはいいと思いますが、便利でもあってほしい。(ユニバーサルデザイン)

図書館に来た人が素通りするようなものではなく、必ず立ち寄りたいと思うものにしてほしいです。

展覧会以外に県民をきひつけるものがあればと思います。カフェや散策路、建物等。

身障者の方にもお年寄りの方にも体に優しい美術館を作って下さい。

池のある庭園の景色を活かしてお願いします。いいアイデアがあれば入れて下さい。

駐車場から遠くならないで下さい。

レストラン、カフェも必ず入れて下さい。

仏教美術は独立したものにしてほしい。

庭園や自然を生かそうとする提案は理解できるが、美術館の機能を最大に持つものを作ってほしい。

展示スペース、県民が活動できるスペースなどせめて、県展は同時開催できるよう、現在の館のスペースを広げてほしい。

自然がいっぱいで、四季の感じることのできる美術館。

高齢化。動く距離を短く、充実感が得られる構造にしていきたい。

年齢とわず来やすいように、観るのに歩き疲れないこと。プラスα庭を楽しめたりすると嬉しいです。

交通の便が一番課題かと。

高齢者にも気軽に来られる、あまり歩かなくて良い建物して下さい。

緑と池を十分に生かされた美しい場所を保存すると共にゆつりできる空間としておいしい食事(レストラン)景色も重要と期待します。

新生美術館に関する意見・感想(自由記述)

1年前、初めて文化ゾーンを訪れ、紅葉が美しく、静かな森と図書館と美術館に感動して、今回家族と共に再びこの地を訪れました。いつまでも自然豊かな場所であってほしいです。また皆で来たいです。

早くたのしい美術館ができるといいですね。

この地の自然を生かして欲しい。なければ意味がない地と感じた。

琵琶湖文化館所蔵の県の文化・美術・宗教財を広く恒久的に公開すべきである。県の責任でもある。

自然と人(芸術)関係が感じられる美術館。

ランニングコストを考えた設計にしてほしい→少ない人員で運用できる、メンテナンスが少なくなるように。

自然を取り入れ、開放的で広びろとした空間をつくる。

お茶室を残してほしいです。

ぜひ魅力的なコンテンツを企画計画してください。

金沢の美術館のように、できた時に話題にのぼるものでないといけないと思います。建築工学などは、専門家が考えてくださったらいいので！！

一台の駐車スペースを今より広く。

少し遠いので美術館行きのバスがほしい。

自然を生かしつつ、開放性と閉鎖性を調和させていただきたい。

いいものを残してください。

滋賀に在る仏像の公開展示は？

美術に最初から感心がなくても、わからなくても行くうちに少しづつなじんで行ける様、年代層が広く近づける美術館(多目的)が良いかと思えます。

いろいろな美術館を見てきましたが、県外、国外からの客があるように展開していけたらいいと思います。(全体像以外にレストランであれば和歌山が良かったですよ)

あまり外観を貧弱にしないで、やはり立派には見えるように経費を使ってほしい。

素晴らしい美術館になることを心待ちにしています。

もう少し明るくしてほしい。美術品保護も理解できますが。

案内して下さる方が何時も女性ばかりで不満です。男性高齢者にも説明をして欲しい。

インパクトがあって一時的に集客力が上がる美術館よりも、県民が使えて、何度来ても楽しめる美術館にしてほしい。

大きい企画展示室で面白い企画をやってくれるのは、楽しみだ。展示室がコンパクトにまとまっていると、展示室の構成が多様になるので、毎回異なる印象をうける展示を楽しめると思う。

今の文化ゾーンの公園は、日本庭園を觀賞するという印象が強いので、遊んだり、学んだり、物を作ったりできる楽しい広場を作ってほしい。

図書館もあって、子供の頃からよく来ているのが、美術館で何をやっているのか分かりにくい印象がある。近くを通ったときに、展覧会の様子や、創作の活動が見えるような楽しい広場があると、行きかけが生まれると思う。子供を連れて行って、ピクニックでもして帰れるような場所が美術館の庭にあると、図書館の帰りにもよりやすくなると思う。

今の美術館は、駐車場から遠いという印象がとても強いので、車で移動する滋賀県民としては、車を止めてすぐ美術館に入ると嬉しい。

滋賀県だけでなく、全国、世界から注目されるような美術館であってほしい。

新しい美術館の構想を拝見し、来場者の方自身が表現衝動を駆り立てられるような空間になるのではないかと、期待が高まっております。

私は臨床美術(クリニカルアート)という分野で美術講座を実施しておりますが、歴史の浅い分野で、まだ認知度は低い状態です。

内容としては現代美術に通じ、独自のプログラムに沿って創作活動を行う事で、脳の活性化や心身のリフレッシュを図るものです。認知症予防を目標として生まれた分野ですが、近年は年齢を問わず、社会人のメンタルヘルス対策や様々なコミュニケーションの場として採り入れられ、少しずつ広がりをみせています。

被災地の方々や障害のある方々への取り組みも行われています。

美術館という場所が、“誰もがアーティストであることに気付ける”ような、来場者の方が表現者としての自他の魅力に気付けるような場所であれば、より敷居が低くなるのでは

との想いがあり、ぜひ臨床美術も美術館から発信させて頂けないでしょうか。

高齢者も子供たちも大人も気軽に集え、創作・鑑賞含めて美術を通じた交流が発展していく流れの中で、認知症予防につながる臨床美術が果たせる役割もあるのではと思い、こちらに書き込ませていただきました。

また美術館に寄らせて頂きます。

新しい美術館をつくるのであれば、ぜひ建築家の方と協力して良い建物をつくって欲しい。

壮大なる無駄遣い。完成後の維持管理費用が心配。必要な1棟のみ建てれば良い。

県展が2期に分けてしか開催できないのは悲しく残念なことです。湖北に住む県民のこともよく考えてほしい。

滋賀県は貧しい空間を再び造るのですか。

バス停や駐車場も重要なファクターですね(出来るだけ美術館の入口に近いこと)。

あまり流行に流される(例:展示室に外光を入れる。イベントスペースを多く取る、など)ことなく、堅実なものとなるよう希望します。しかし、夏はポンプが止まり、鯉が浮く(虫も多い)。池のほとりのスペース等、本当にくつろげるのでしょうか…。庭のさらなる整備が、これから必ず続くなら良いのですが。

今年からよく来館するようになり、思ったより居心地が良い施設だと思っています。だから、老朽化という話は驚きましたし、新しい美術館には更にいい施設になって欲しいと思います。パネルが13個もあり面白かったのですが、立てて欲しかったです。子供などへの配慮がもしもありませんが、見つらかったです。折角面白い企画なのだから、冊子にすれば自宅でゆっくり考えられました。

今の美術館をいかした新しいものを作ってほしい。子供も来やすい美術館にしてほしい。

ステージとかいらぬものは作らない。

駐車場から建物までを、あまり歩かなくてもいいようにして欲しい。

歩くのが好きな人には、十分な散歩道を。

ぜひ心地いいレストランを作ってほしい。

徹底したバリアフリーと触れる展示の企画。

自然光をとり入れた照明の工夫。琵琶湖の眺めを活かす。

新生美術館に関する意見・感想(自由記述)

おいしいレストラン、喫茶休憩所を入口近くにしてまわりの散策をした人が体を休めるように商店売店が楽しい場所になるように工夫して下さい。

気軽に足をはこぶ事ができる様な美術館。

中～高齢のお客様の多い美術館ですので、バス停や駐車場からの距離や、館内での動線(迷ったりしない。各展示室が遠かったり、広すぎると移動に疲れる)、休憩スペースなどに配慮してあげて欲しい。又、何か困った時にすぐに係員にきけるようにお客様と職員や係員(スタッフ)との距離感も大切に欲しい。

高齢者や身体障害者の為にも館内のアップダウンは少なめに…。

常設展と企画展の展示室が離れていると、増々常設展を観覧する人が減少するおそれがある。

コミュニケーションスペースやアクティブスペースと展示室は距離をとって欲しい(静かに観覧できるように)。

遠方から来た人、家族で来た人でよくレストランがないため困る人が多い。ゆっくり観ていただくためにもレストランが必要。

小さな子供でも楽しめる美術館が出来ると嬉しいです。

図書館に来た人が素通りするようなものではなく、必ず立ち寄りたいと思うものにしてほしいです。

機能性とユニークがあれば良いと思います。

仏教美術、アール・ブリュット等を統合するのはいかがなものか。アール・ブリュットは近江八幡の施設を充実すべき。

あまり奇抜なものではなく、清潔感のあるものを希望。

アール・ブリュットに力をそそいでほしい。

公園の美化に力を入れてほしいです。

目で見るだけでなく、光、音等体感できるアート展示であれば子供も楽しめるのでぜひお願いします。

現在の展示室を基本的に活用して常設展示を行い、企画展示室新設と収蔵庫の新設に力を入れるべきだと思う。余り展示室やイベント広場を距離的に拵げずに配置すべきである。

親子でゆっくり楽しめる美術館にしてほしい。

現在の美術館は、駐車場から歩いて入場しないといけない不便さがある。楽に入館できる設計も考えてほしい。

県展をはじめ、県内作家の大規模な展示会が存分に出来る施設を作っていただきたいと思います。(少なくとも県展を前後期に分けなくても済むような…)滋賀の美を大切にするためにも、県内作家が活躍できる場を是非作って下さい。

建物が全て箱形なのは新鮮味がない。円形orドーナツ状で周囲からすべて採光できる建物とか。坂状に回遊して登るものetc。また、近代・現代という表現は、何を指しているか不明。例えば、歴史的分割大正/昭和、モダン、工芸、別物に特化したものに分岐した企画室がほしい。県民というとき、アマチュア特化したものの特別展もほしい。県展はアマチュアのみでない！特に、現在の県立近代美術館の名称は非常に紛らわしい。単に、県立美術館(多岐の展示)でよいと思う。モダンアートならモダン美術館とか、野外展とかバラエティに富んだ文化ゾーンで育ててほしい。